

第 8 回久慈市沖浮体式洋上風力発電検討委員会 議事概要

日 時) 令和 5 年 12 月 26 日 (火) 14:00~16:00

場 所) 久慈市役所 3 階 大会議室及び ZOOMWEB 会議室

出席委員) 北澤委員長、田中委員、伊藤委員、川戸道委員 (代理:濱欠氏)、二子委員、似内委員、山王委員、横内委員、佐藤委員 (代理:阿部氏)、高橋委員*、阿部委員*、照井委員 (代理:本間氏)、工藤委員、向井委員*、小野寺委員*、桑田委員、嵯峨委員、谷崎委員、大崎委員 ※は ZOOMWEB 参加者

1. 主な議事

【議事 1】 第 7 回検討委員会の振り返り

【議事 2】 今年度の進捗状況

【議事 3】 今後の予定

【議事 4】 その他

2. 主な意見等

【議事 1 関係】

特になし

【議事 2 関係】

- ・先進地視察に参加した漁業者の地区や漁法はどうであったか。
→沖合を利用されている漁業者にお声がけし、ご希望のあった方にご参加いただいた。すべては把握していないがイカ釣り・タラ延縄・カゴ漁の漁業者であった。
- ・40 ページ。マダラは沿岸に産卵に上がってくる。避けて欲しいということは、保護したいのか獲りたいのか。もう少し詳しく、どうするとよいか聞くべき。
→承知した。この場では保護の意味合いであったと思う。
- ・17 ページ。2021, 2022 年は北海道沖等でまき網船が獲った魚介類が大量に水揚げされたもので、久慈沖で獲れたものではないのではないかと。漁法でチェックして確認して欲しい。金額ベースで見ると、どの魚種が一番寄与しているのか把握できる。
・養殖サケマスも 2023 年に反映されていないようなので、注意して欲しい。
→承知した。金額ベースでも確認する。
- ・40 ページ。各団体の意見のベースとしてどのような情報を提供しているのか。
→久慈で行っている調査として今年は風況調査の状況、久慈市沖での洋上風力関連の動向や進捗状況、今後の予定など概要を説明した。

・今年度の漁獲は、水温が高く例年と状況が違うことを考慮して報告書に記載して欲しい。
→承知した。経年の水温実測データはないが、既存資料などで傾向記載する。

・11 ページ。説明会やヒアリングに参加されていない漁業者も多いので、意見聴取を繰り返し、フォローアップして欲しい。
→これまでより多くの漁業者が参加されたがまだまだ少ないので、繰り返して実施する。

【議事 3 関係】

・3 ページ。風況速報はこれから補正をかけるとのことだが、ほぼこのような結果になる見込みか。風の強いエリアがより沖合に動いたという印象がある。
→現時点では分からないが、大きく変わることはないと思われる。

・5 ページ。電中研の試算事例にある削減効果はどのように出したものか。
→資料には洋上風力と石炭火力の CO2 排出量があり、これを久慈市の電力使用量で割って求めたものである。

・最終的な事業性の評価は、設置場所や基数を想定するのか。
→事業性は風車の建つ位置の風況を考慮しないと精緻にできないが、現段階では位置を決めず風況を想定して単機あたりを試算し、基数が増えれば大きくなるというレベルにとどめる。

・7～8 ページ。本事業以降のプロセスへの申し送り事項は残された課題を整理したものだが、9 ページ報告書目次案の 10.2 に落とし込むということか。
→そのように考えている。

・申し送り事項には市の将来を含めた検討も含まれるので、市の基本構想や国脱炭素の視点を加えて欲しい。洋上風力アセスの在り方は過渡期でありまだ流動的で、久慈のスケジュールにもよるが、現行制度と新しい制度のどちらになるか不明なので、新しい制度で行うことも想定して加えるとよい。
・様々調査しているが、今後どうまとめるかが重要。残り時間も短いですが、貴重なデータも取れたので整理して欲しい。
→承知した。

【議事 4 その他】

[全体を通しての質問]

特になし

[委員等コメント]

・今回ヒアリング・説明会を実施し参加者も増えたが、今後もヒアリング・説明会を行って漁業

者の賛同を得て進めて欲しい。

- ・漁船漁業者協議会全員の同意がなければ進んでいかないと考えている。個人的には進めていきたいが、現場では反対も多く、大臣許可・知事許可との協議の進み具合も心配である。漁業協調で最終ゴールが見えていないのが気がかり。
- ・港湾のノウハウで活用できることがあれば協力したい。県とも、港湾分野の脱炭素を進めているので、相乗効果を高めていければと思う。
- ・10月半ばに商工会議所異業種の会で能代に行ったところ、アパートもホテルも満室で求人も多く、元気をもらった。銚子も活気がある。市では景況感65.5%が前年比で悪くなっているとしており、洋上風力を見逃すと久慈はもっとだめになる。商工会議所も頑張りたい。
- ・洋上風力の環境アセス制度も現在進行形で検討が進められている。引き続き情報提供・情報共有できればと思う。
- ・先般促進区域指定ガイドラインの改訂のパブコメが行われた。先行地域の動向・経験を踏まえてアップデートされている。そのような国の洋上風力発電の動きや他地域の情報を提供して支援したい。
- ・再エネ促進は必要だが、これまでの調査も踏まえ、地域との共生をいかに確保していくかがこれから重要である。洋上風力は県にとっても重要なので、課題があれば一緒に取り組みたい。
- ・県の港湾管理者として、久慈港脱炭素化推進協議会を昨年立ち上げ、関係機関と連携して取り組んでいる。久慈港長期構想の策定作業にも取り組んでいる。情報共有を進めながら引き続き取り組み進めたい。
- ・漁業調整は申し送り事項として、今後も出来るだけ多くの人から広く意見を聴取して進めて欲しい。水産行政と協力してできることがあれば取り組んでいく。
- ・久慈市の取り組みを漁業協調の参考にしたい。近隣自治体として協力したい。
- ・今後ともよろしくお願ひしたい。
- ・8地区でヒアリング・説明会をしてもらって、おおむね好評であったと思う。いま、温暖化で魚種の変更が進んでおり、漁場も漁法も変わるので継続的に話を聞く場を設けて欲しいという声があった。自分でも痛切に感じている。
- ・先日県の将来人口推計が出て、久慈市もだいぶ減るということである。洋上風力は経済効果が期待できる事業であるが、漁業との共生が一番大事なところなので、漁業協調しながら、人口減にならないよう持続的に発展できるように、事業が進めばと思う。
- ・漁業協調がポイントになる。今年度、実態調査でキャッチボールが始まったが、今後のフォローも含めてひざを交えた議論を重ねて行って欲しい。
- ・ご意見、ご指導に感謝する。人口減少の大きな切り札と考えているが、漁業者が、洋上風力が必要かということを議論できる場を設けてやっていきたい。
- ・漁業協調をどうするかに尽きる。市は事業者でないので、具体的な提案できないとは思いますが、話をすれば一定程度の理解得ることが分かった。今後は、団体というより本当に漁場としている個人にどうかを聞かなければならない。引き続き進めて欲しい。
- ・銚子と違い、漁場として使っている場所と重なるので大変かと思う。Win - Winになることが大事であり、そこに久慈の未来が懸かっているので頑張りたい。国策としてカーボンニュ

ートラルに取り組んでいくことになっているが、2050年の洋上風力の目標達成には毎年3GWは導入する必要がある、そこに久慈がどのようになっていくかも懸かっている。1サイト50万～60万kWとして200か所くらい必要なので、岩手県沖にも何箇所か置くことを考えないと追いつかない。

- ・久慈市は精力的に取り組んでいると聞いており、漁業者とのコミュニケーションを丁寧に行っていると感じた。先日パブリックコメントが募集された洋上環境アセスのガイドでも、洋上では基礎データが決定的に欠けていることと、年変動が大きいということが書かれている。今回資料の技術データも大きく関わっているが、年によって大きく変動することが理解できた。アセス予測・評価にはベースラインの情報が必要だが、経年の蓄積が大事だと思った。引き続き調査重要である。
- ・詳細に調査し、精力的に議論していただいた。得られたデータで対策をブラッシュアップして進めて欲しい。報告書取りまとめに協力をお願いしたい。この事業では建てる・建てないを決めるのではなく、基礎データの蓄積となるよう取りまとめて欲しい。

[環境省情報提供]

- ・洋上風力発電の促進区域を選定するにあたって、セントラル方式でアセスの実施の検討が行われていることについて環境省より説明いただいた。

以上